磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町[illegible]五一
電話代表三八七番 二一九番
振替仙台31,355番
編集兼発行人 長瀬芳郎

磐城日日
本紙は自由に購讀できます
購讀希望のお方は最寄りの支局又は本社へお申込み下さい
磐城日日新聞社

平市議會第一日 事務局設置が難航

金古議長に強口議員喰い下る

昭和二十六年度平市歳出入追加更正予算を始め、市議会事務局設置條例設定、分課條例改正の件等議案第五十號より、六十五號に至る十六案件を審議する平市議會は、三十日午前十時半、金古議長以下全議員、市役所側諸橋市長、伊藤助役、各課々長出席の上開会、傍聽席は平第二婦人会員が、〃市会見參〃ですし詰の盛況

先ず伊藤助役二十六年度追加更正の歳出入予算の理由を各款項目毎に説明歳出に於て議会費の二十三万六千九百七十三圓が新たに議会事務局設置の人件費に計上され、二十萬円が平事件の應援警察官等の宿舎營膳費に更に百二十三万圓が同件の警察費に当てられているのが目立っている、ついで市議会事務局設置問題の討議に入り、

強口議員

中央でも行政整理が行われている矢先、縣下四市に事務局が設置されていないからといつて直ちに設置する必要はない、一應檢討しての後ではどうか

鈴木(寅)議員

また、事務局の必要性は薄弱であると同案の保留方を力説

大嶺庫議員

同案は委員会に附託したがいいと思う

多田井議員

事務局設置は議會の圓滑な運營上是非設置することが望ましい

かくて議案五十四號市議會事務局設置問題は賛否兩論の中に容易に決定せず

金古議長

全國中市の議会に事務局のないのは殆んどない、縣下でも市でとの機構をもたないのは平だけだ、地方自治條例を見ても市議会が事務局を設置することは極めて妥当であると思つている

と説明するや

強口議員

再び發言を求めよそにあるからといつて平に設置せねばならぬという法は絶対ないと重ねて反対

晝食のため休議

競輪課獨立で 強口議員ら猛反對

午後は一時半から續開、分課條例改正の件で再び市当局對强口、鈴木(寅)諸橋議員間に活潑な論議が交わされた、即ち總ム部の新設と從來商工課に屬していた競輪室の競輪課獨立問題で、先づ

鈴木(寅)氏

競輪課を獨立する必要はない、商工課に隷屬したまゝ今少し成行きを觀望せよ

強口議員

競輪の不振は事實が證明している、競輪を中止するかどうするかという矢先、競輪課を新たに獨立さすというのは狂態ではないか

諸橋議員

競輪自体は必ずしも悲觀するに當らないかも知れぬ、これが爲には觀光面と競輪を結びつけ積極的にやるためには四部委員が全員競輪委員のポストにつき努力出來るよう持つて行く事が望ましい

右に對し市当局を代表して

伊藤助役

競輪が不振であればこそ能率と責任の上に同課の獨立制がより必要となつて来たわけで、やり出した以上老大な資金が投ぜられていることでもあり、必至の努力をもつて善處策を講ずべきであると信じ以上の觀点から競輪課の獨立を企劃したものである

と説明、次いで總ム部と競輪課の部課長問題は新たに人員を持つて來る意向はなく「各々兼任の意圖であるから人件費には影響しないと補足これによると總務部長は現庶務課長佐藤信雄氏、競輪課長は現商工課長がおのく兼任するものと見られる

自治警察存廢は町民の意志による

渡辺植田町長を打診

自治警察の存廢問題について熊谷菊田支局長は渡邊植田町長を訪いその可否についての所信を打診した

町長

自治警の存癈は町民の投票によつて決せらるゝことであり自分は與論に從つて善處するつもりで今直ちにどうとうと斷ずることは出來ない

記者

自治警察の廢止は地方自治の本旨に反しないか即ち第一次的地方公共團体たる市町村が警察を維持するとは市町村の基本的權能ではないか

町長

そうも言える、只自分は今回の政府において考えられている警察法改正の方向が地方自治の本旨に逆行することなく、自治警察の國家地方警察への移官についても住民の自由な意志を尊重して民主的な方法によりなされるときは反對は出來ない、要は町民の輿論にまたねばならないと前提したのである

記者

自治警察維持に要する一定標準の警察費は地方財政平衡交付金制度によつて國から財政的に裏付けされているではないか、當町では幾何交付金があるか

町長

約四百万圓あるだろう然しこれは警察費ばかりではない、町吏員(勿論警察も加わる)、消防費等々であつて現在のところ平衡交付金のみでは足りない、約七、八割位のもので二乃至三割は町の負担であるそれに不時の災害や非常警戒などにより他より應援を受けることも想定におかねばならない、こうした場合の費用は兎に角理念的には假かに廢止する要はない様にも思われるが又一面町村警察には他署との人事交流などがないので若い有望の人材が昇進の途を狹められている点氣の毒に思われる、警察にはボスの侵透が容易であるとの見方もあるようだ

記者

それは必ずしも理由のないことではないが、然し自治警察は町民の警察であり自分等の警察である、それを健全に育てるのは町民の責任でありボスの支配に屈するものありとせば斷固として阻止するために闘わねばならないと思う

町長

兎に角、一長一短があるので町民は愼重に研究してもらいたい、町署長や公安委員の所信も伺いこれを發表して世論の喚起を望みたい

日立製作の買收

總務委員會で協議

小名浜町議会總ム委員會は二日午前九時より役場町長室に開催菅原委員長以下箱崎、藤社、西丸、飯塚(新)高木、小野(ム)金澤小野(直)委員、町当局より長瀬助役が出席日立製作所敷地の買收問題を討議、結局單價決定の問題を殘し諸種の工場誘致準備のため買收の線に步調を揃え、次期町会にはかり買收承認を求める運びとなつた、なお有利に展かい中の製鹽工場誘致内容に対する中間報告が行なわれた

石城教員組合會議(平二小で)

石城教員組合では三十日午前九時から平第二小学校で郡下各校教員八十名が參集、教員手当支給問題、教員の教育、教育の研究等活潑な論議が交わされ、各支部大會を八月下旬に開催、縣大会、ならびに全國大会に參加する人選等を行うことゝなつた

小名一小で學級総會

小名浜町第一小學校に於ては來る十三日新しく購入したピアノの披露会を開催するのでその準備のため三日午後一時半より評議員並に学級委員總会を視覺室に開催協議する

湯本土木委員會を開く

湯本町土木委員會は二十九日午後五時から行われ湯本町中学校雨天体操場の上棟式に参列した

高等学校の演劇発表會

七月一日平第三小學校において高等學校の演劇發表会が開催された、磐女の「山霧」小名高の「行く春」全夜間部の「海の王者」磐高の「人は狸」等を上演盛況を極めた

更正予算も通過

共立病院組合議員に江尻氏

=泉村會續報=

(既報)去る三十日の泉村會午後の議事は中食の休憩時を利用してかい催された村税徴收條例改正に關する委員会の結果を吉田(勝)委員長より報告、扶養控除は一名百六十圓にて午前中に報告された税率で徴收すると修正可決し、勤勞者代表よりの要望に應えて滯納處理委員会、納税奬勵費等の設定の件を採擇七月村会(十日頃の予定)にて細部事項を理事者より立案上程する事となつた

磐城共立病院組合員は佐藤權兵衛氏の發言により江尻議長を滿場一致推薦

昭和二十六年度泉村歳入歳出追加更正予算、鐵道廢砂利(道路修繕用として)拂下げ、泉村會定例日を原案通り可決した

淺海増殖事業の協議會

來る六日午前九時より江名漁協組会議室にて淺海増殖事業助成協議会を開催、七月十日より開始する石城七浜の岸面掻破作業に對する助成其他に就き協議する

保安部無線所長着任

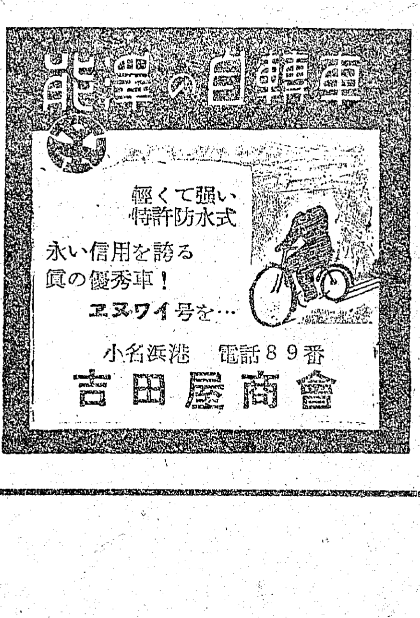
去る十三日開設された小名濱海上保安部無線通信所長には勝台壽春氏が任命されこの程着任したが業務開始には來月中旬頃の見込

公民館廣報 植田で発行

本日午前十時より植田町公民館に於て公民館運營委員会を開き、公民館廣報の發刊其の他館機構の充實を議題に審議する委員は議員代表や学識經驗者の外各種民主団体より推薦された少壯の人材が多く今後の活動が期待されている

顯徳碑建立

湯本、内郷、好間など炭礦所在町村長はこの程常磐炭礦開發の恩人片寄平藏氏の顯彰碑を建立することを申合せた


能率の自轉車
輕くて强い特許防水式
永い信用を誇る眞の優秀車!
エヌワイ号を…
小名浜港 電話89番
吉田屋商會

夏の味覺と榮養!!
蒲燒・うな丼・お重辨当!!
新鮮 生壽司(材料豊富)
割烹仕出し 金時
小名浜駅前 電話一二八番

公告

舊 小名浜町松ノ中二〇 小野正實
右の者不都合なる行爲ありたるに依り小名浜地區内の産業經濟新聞の販賣權を解約する
依つて
新 小名浜町林ノ上二〇〇 黒田雄壽
右の者に小名浜地區内の産業經濟新聞の販賣權を命ずる
七月一日
平市三丁目十八番地
産業經濟新聞販賣浜通り本店

7月3日—6日まで特別堂々大公開全日正午より通し上映
大映の「自由学校」は一九五一年上半期隨一の話題に富む問題作であつて「自由」のあり方を自分達の愛情の世界の中に發見する經路を明るい諷刺で描いたもので獅子文六の自由作を大映のオールメンバーで力演された問題の映畫である、更にスターの新人五百助の小野文春當選スタは懸賞一であつて燃える激情の演技を見せる木暮實千代の相手役、日本の戀人京マチ子を配した大映の誇る「自由學校」に皆樣の〃絶大なる御期待を乞う〃
◎20貫以上のお客樣は無料招待致します◎
自由学校
磐城座
普通料金70円 前賣券60円(目下發賣中)

中体連郡下野球大會 十一校組合せ決定

小名浜より二校出場

福島縣中學校体育連盟石城支部、全平支部主催、縣教員組合、石城郡中学校校長会、小名浜町、福島民報社後援による石城郡地區中學校野球大會は來る七日小名浜一中、日本水素の兩球場に於いて擧行されるが、それに先き立ち二日午前十時より小名浜一中圖書室に出場校の專問委員、地元小名浜野球協会代表等出席して打合會を開催した、出場校は四倉中、草野中、湯本中、平一中、平三中内郷二中、好間中、植田中、錦中、小名浜一中、小名浜二中でトーナメントにより試合を行うことを一致申合せ、次いで抽せんにより次の通り組合せを決定した

第一日（七日）

小名浜一中球場午前十時半試合開始

湯本中〜草野中

好間中〜錦中

小名二中〜平一中

日本水素球場午前十一時より

①小名一中〜四倉中

②平三中〜植田中

③内郷二中〜平三中と植田中の勝者

なお當日は準々決勝を行い、第二日目は小名濱一中球場に於て午前十時より準決勝、午後二時より決勝を行う

小名浜二中優勝

ソフトボールは泉中

石城郡中体連第八方部の野球並ソフト大会は三十日午前九時より野球は小名浜一中、小名浜一小の兩校庭、ソフトは第二小校で行われた結果野球は小名浜二中、ソフトボールは泉中が優勝した スコアーは次の通り

野球

鹿島中1―0泉中

小名二中1―0江名中

小名二中3―0泉中

鹿島中1―0江名中

小名二中8―0鹿島中

小名二中三戰三勝にて優勝、との試合に小名二中の木田投手は二本のホーマーを飛ばし攻守に抜群の働きをみせた

ソフトボール

小名二中6―4江名中

鹿島中17―8小名一中

泉中16―2小名二中　コールドゲーム

泉中13―0鹿島中　コールドゲーム

泉中が壓倒的强味を発揮して樂勝した

ケイト台風

新潟から 日本海へ

二日午前十時中央氣象台特報によると九州南東部を襲つたケイト颱風は目下東經百三十五度、北緯三十四度附近を半經百海浬を荒しつつ十三ノットの速力で北進中であり、二日夜から三日朝にかけて太平洋岸から新潟を經て日本海に拔けるものと見られているが漸次速度は弱りつつある

署員の採用試驗

成績發表は五日頃

小名浜町消防署設置についてかねて署員募集中のところ三十七名の應募者があり去る三十日午前九時半より第一小学校に於いて採用試驗を行つた、当日の試驗官は水野町長鈴木警察署長、御代消防團長、髙木第一小學校長成田（高校）小林（水產高）加藤（高校）比佐（一小）の各指導員に消防委員の木田、藤社、橋本の各町会議員、学識經驗者として小野直千賀、立花勇、馬上幸男の諸氏であつた、受驗者は三十二名であつたが發表は五日頃になる模樣である

『綴方教室』

旅行

小名二小六ノ一　菊地和子

私は旅行の前の晩にごはんをたべてすぐねなさいとかあさんにいわれたがなかなかねむれなく十時ごろやつとふとんをかぶつてねてしまつた、約二時間ばかりねむつてすぐ目がさめもう五時になつたと思つて時計をみたらまだ一時だつた、私はもううれしくてうれしくてしようがなかつた、するとお父さんが「まだ早いからねていなさいあしたねぼけるぞ」といわれたがねようと思つてもなかなか眠れなかつたねたりおきたりしているうち時計は三時を打つたので起きあがり、歯をみがいたり、顔、手、足を洗つたり髮の毛をといたりして身じたくを終つたのは五時少し前だつた、こんどはかあさんと宮下の駅までいつしよに行つたらもう皆ながきていた、うれしそうにとんだりはしつたりしている、五分ぐらいたつと菅原先生がきて皆せいれつしてまつていた汽車がきて中をのぞいて見たら皆にこにことして乗つてた、私もあわて半分に乗つた、泉へ着くと私たちのグループの人といつしよにかいだんを登つて行きホームにならんでいた、そのうち汽車が入つてきた、一人づゝのつたらあまり座るところがなかつた、やつとどとかのおじさんの隣りえ座らせてもらつた、お落着いてからあめをたべたりしているうちどとかの驛についた、駅の人が「あめけな」といつたので私はキヤラメルを二つやつたら喜んでいた、もう六時半ごろになつているので乗客も驛ごとに多くなつてきたやつと勝田に着いて次の汽車を待つていたらすぐ汽車がきた、その汽車は「臨港」の汽車みたいであつた、それから少し乗つておりるとこんどは歩いて行き舟に乗つて向う岸に渡りまた歩いて大洗についたのはもう十一時近くだつた、そこには店が何軒もあつて私は先生のゆるしをうけずおみやげを買つてしまつた、すぐ大洗の神社に行つてめずらしいものを見てから水戸驛の電車に乗つていたら私は氣持が悪くなつてとうとうはいてしまつた、やつと水戸に着いたがまだふら〱していたので少し休んだ、こんどは景色のよい公園みたいなところで休すんだ少し休むとこんどは驛に行く前に二、三十分のおみやげを買う時間があるので皆なうれしそうに買いに行つた、私も仲間の一人だつた、駅にかへつてまつていたらすぐ汽車が来た、私たちもそれに乗りこんだ

↑ ↓

湯本町の優良赤ちゃん

湯本町では去る十九、二十、二十一日三日間公民館にて四百二十一名の赤ちゃん検身を行い、男女二十数名の優良赤ちゃんを選出したが再審査を二十九日午後二時から湯本町診療所で行つた結果次の二十名を優良兒と決定表彰狀をおくつた

◎男子　斎藤孝忠（榮田）及川伸（上町）青木兼好（向田）穗積一喜（御幸町）柴山秀則（天神）渡邊英司（天王崎）紺野繁夫（天神）小澤利男（向田）關根芳行（寶海）

◎女子　寺門純子（上町）橋本惠美子（榮田）菅野和江（磐城）高木正子（榮田）今井美和子（日渡）紺野隆子（天王崎）北郷美津江（磐城）鴨田菊代（品川）青田祐子（横町）青木祐代（天王崎）

商工會議所專務

草野四郎氏に決定

平商工会議所議員会は一日午後一時から市役所会議室において議員二十名出席の上開催、伊藤專務轉出後空席のまゝだつた後任專務に田邊製作所の草野四郎氏を選任する件を議し全議員の承認を得て、茲に商工會議所の陣容全く成り一段と商工面の刷新に拍車をかけることゝなつた

四八世帯が扶助の適用

植田町に於て生活扶助の適用を受けている世帯数は四十八世帯、百六十四人であり一ヶ月の扶助總額は九万七千八百圓となつている

鮎の解禁

漁鑑札交付

植田町釣友会（会長森合芳男氏）は一日解禁された鮫川、四時川の鮎漁に對する入漁鑑札の交付をなしてきたが現在まで百名余の受鑑者があつた、それについて釣友會の幹事鶴岡氏は

現在繁殖は余り良好ではない様だが、それでも場所によつては六、七寸二十匁位のものもあると思う、成長の非常に早い魚でとこ十日位日照りが續けば、相當目方のあるものとなる事は請合だ

としきりに天候を氣づかつていた

手當四千五百万

常磐勞資交渉で決定

常磐炭礦勞組では再度会社側に對しての期末手當退職手当改訂要求を二十八日午前一時三十分より徹宵に及んで交渉を繼續した結果次の條項で妥結をみた

◎期末手當は本年三月末在籍の勞ム者に對し總額四千五百円を支給する、（一人當り四千円强）

◎七、八、九の三ヶ月特別賞與は指定勞働日数に達した場合には千圓（採炭関係千二百円）達せられぬ場合は半額

◎退職手当は算定日數三百円の頭打ちを三百六十間円に増額、協定期は七月一日以降二ヶ年とする

なお退職條項は一部改正してとの期間中はスライドはしないが仮に期間中に實質的な値上りをした場合は次回の協定締結のときに値上することになつた

つらい木炭の値上り

生産者も資材不足で悲鳴

木炭値上りは何處までつづくか消費者側は昨今、相次ぐ値上りに悲鳴を上げているが、この原因は山林の乱伐からくる資材の拂底にあり、國有林の拂下げも昨年に比して生產の六割といつたところであり四月から比較すると平均二、三十円は値上りを示し、九、十月頃はさらに三、四十圓は値上りするだろうとの事で四貫俵平均三百圓台となれば御台所を切り廻す主婦にとつては大きな恐慌である、また一方生産者も資材不足で仕事がなく炭燒きをやめて勞ム者に轉向するものもある現狀で出產は益々減少するものと思われる湯本町内の木炭價格は次の通りである

ナラ丸上二八〇、並二七〇、ナラ割上二七〇、並二六〇、雜丸上二四五、ナラ割雜上二二五 並二一五

天氣概況

「本日」南西の風晴一時曇りの天氣でしよう

「海上」時化ますから漁船は嚴重な警戒を要します

魚菜市況 2

【小名浜中央青果市場】▽きうり三〇〜六〇▽馬鈴薯三〇〜五五▽梅三五〜五〇▽なす一二〇〜一六〇▽ねぎ二〇〜二五▽にら二、五〜三、五▽玉ねぎ二八〜四〇▽しそ七〇〜八〇▽なたまめ四〇▽かぼちや五六▽らつきよ八五〜九五▽卵九〜一〇、六▽人参六〇▽きやべつ一〇〜二〇▽とまと一三〇〜一五〇

【魚市場】すずき四五〇▽せいご四〇〇▽えび九三〇▽ぎす八〇▽たこ一〇〇〜一二〇▽ひらめ四〇〇あ▽ぬけ一二〇〜一八〇▽かじ二〇〇

建築材
建具材 販賣
常磐木材株式會社
小名浜販賣所
小名浜町第二小学校前
電話三五八番

富ヶ浦病院
院長 安田善一
小名浜町中坪
電話三三番

三馬弘進印の
自轉車タイヤーの大特賣!!
◎タイヤー一臺分（二本）お買上げの方には特にチュウブ一本を差上げます
◎尙リヤカータイヤーも特に勉强致します
自轉車タイヤー一台分　一、四〇〇円
リヤカータイヤー一本　一、九〇〇円
リヤカーチュウブ一本　三〇〇円
◎三馬弘進印の地下タビも大量に入荷しましたので特に大勉强致します
=期間に制限はありません=
三馬弘進ゴム代理店
小名浜町本町
小島ゴム店
電話三四〇番

◎良質安価をモットーとせる
御家庭の必需品!
花かつを
製造元 二幸商会
小名浜町定西 電二四〇

あらゆる競爭!!
運動、勉强
事務、労働
ツカレをハネ返す
活力剤 ポリグロン（二〇〇円）
ダルマ薬局
小名浜町本町 電二二三番